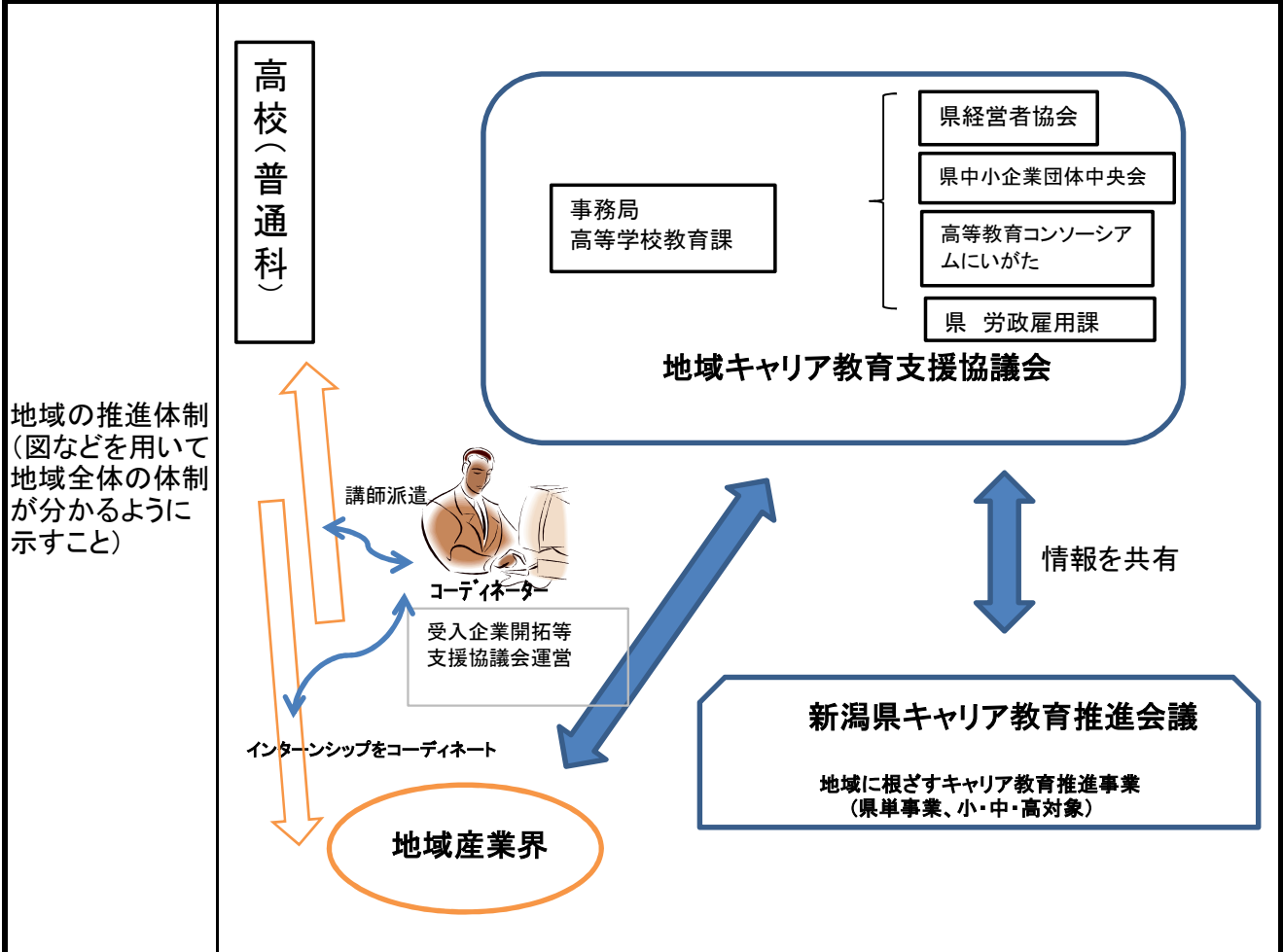


「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

1. 実施主体	
本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名	新潟県教育委員会
2. 現状及び課題	
地域内でのキャリア教育に関する現状	・地域のキャリア教育を推進するため、専門高校を中心に地域の企業と学校のネットワークづくり等を展開したり、また、一部の普通科高校においても地域と連携したキャリア教育を推進しているが、積極的な取組を行っている学校が少ない。 ・また、地域に根ざすキャリア教育推進事業(県事業)を展開し、小・中学校を中心に家庭や地域との連携のもと、キャリア教育を推進している。
地域内でのキャリア教育に関する課題	インターンシップ実施等体験型のキャリア教育は、専門高校などの高校にとどまり、特に普通科高校では、取り組んでいる学校が極めて少ないため、普通科における体験活動を促進することが重要である。しかし、普通科高校単独で、インターンシップ等の受入企業を開拓することは非常に難しく、地域における理解の醸成やそれをコーディネートする人材が求められている。

3. 委託内容に対する取組
(1) 学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営



	団体名	役割
協議会の構成	新潟県教育庁 高等学校教育課	委員2名(参事 コーディネーター)高校教育段階での指示、助言、全体調整
	新潟県経営者協会	委員 経営的な意見、助言
	高等教育コンソーシアムにいがた	委員 インターンシップに関する指導助言
	新潟県中小企業団体中央会	委員 インターンシップ受入れに関する意見、助言
	新潟県教育庁 義務教育課	委員 義務教育段階での指導、助言
	新潟県産業労働観光部 労政雇用課	委員 雇用等に関する助言
目標	<p>※地域における課題解決のために、協議会の目標を設定すること</p> <p>地域産業界と普通科高校とのインターンシップの実施や、地域産業界の講師によるキャリアセミナー等の実施により、普通科高校のキャリア教育を推進する。</p>	
方針	<p>※目標達成に向けて、協議会の取組方針を設定すること</p> <p>事務局主導のもと、地域キャリア教育支援協議会を開催し、高校生のインターンシップ受入れを地域産業界へ働きかけ、普通科高校のインターンシップを実施、推進する。</p> <p>また、協議会を通じ地域産業界の状況や雇用の状況等の情報を共有するとともに、キャリア教育を地域で一体となって推進する。</p> <p>新潟県キャリア教育推進会議等を通して、小・中学校に情報を提供するとともに、インターンシップ発表会等で小・中学生の参加を促すなど、小・中学校でのキャリア教育支援にあたる。</p>	
事業の自立的かつ発展的な運営体制	<p>個々の学校のニーズを把握し、本事業のコーディネーター等がそのニーズに応じて、支援提供者を開拓するとともに、提案を学校に紹介する。</p> <p>普通科高校におけるインターンシップ等に対する支援の促進を図る。</p> <p>コーディネーターは、地域キャリア教育支援協議会を開催し、協議会として地域産業界との連携を図るようコーディネートをする。</p> <p>本事業終了後は、事業実施した普通科高校を中心に地域等と連携し、事業の継続を行い、地域キャリア教育支援協議会を事業実施校を中心に開催し、本事業を各地区で継続する。</p>	
<p>(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進</p>		
<p>①支援を提案する支援提供者を開拓すること</p>		
<p>地域キャリア教育支援協議会の助言や支援のもと、コーディネーターが中心となり地域産業界における支援提供者の開拓を行った。</p>		
<p>②支援に関する提案を学校に提示すること。</p>		
<p>支援提供者の開拓を経て、支援対象とする学年、時期、人数等提案の詳細を一覧(データベース)にし、支援提供者の提案が効果的に学校の利用に資するよう、コーディネーターが提示方法を工夫し、社会人講師の派遣等の提案を学校に提示した。なお、詳細一覧(データベース)は、学校間で共有し、インターンシップや社会人講師の派遣を効果的に行った。</p>		
<p>③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。</p>		
<p>コーディネーターは、キャリアコーディネーター経験者を充て、紹介の実施に当たった。</p>		

(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進

①インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。

地域キャリア教育支援協議会の助言や支援のもと、コーディネーターが中心となって地域産業界における支援提供者の開拓を行った。

②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。

支援提供者の開拓を経て、支援対象とする学年、受入れ時期、受入れ可能人数等、提案の詳細を一覧(データベース)にし、支援提供者の提案が効果的に学校の利用に資するよう、コーディネーターが提示方法を工夫し、提案を学校に提示した。開拓データベースを蓄積した。小中高校間におけるキャリア教育推進に努めるとともに、企業連携を効果的に図った。

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

コーディネーターは、キャリアコーディネーター経験者を充て、紹介の実施に当たった。

(4)その他の取組

4. 計画・スケジュール

実施時期	実施内容
11月～2月	地域産業界への各種支援受入企業開拓
12月20日	地域キャリア教育支援協議会 開催
2月5日～3月28日	インターンシップ実施
2月26日～3月14日	社会人、大学生、地域企業等によるキャリアセミナー等の開催
3月26日	インターンシップ実習発表会
3月26日	地域キャリア教育支援協議会 開催

5. 協議会の成果と課題

※計画段階で示していた検証方法等を踏まえ、客観的・具体的に記載すること。 ※成果を踏まえた今後の課題についてもあわせて記載すること。	支援提供者のデータベースを作成することにより、地域産業における普通高校のインターンシップの実施や、地域産業界の講師によるキャリアセミナー等を実施するなど、普通科における体験活動等のキャリア教育を推進することができた。地域企業と学校とのネットワークづくりにも繋がった。 事業実施後は、アンケートの実施や体験活動後の発表会等を実施し、成果を地域キャリア教育支援協議会で検証した。 支援提供者のデータベース化を図り、これらデータを有効活用する。報告発表やアンケートの結果等の活用を検討する。 インターンシップマニュアルの作成と活用を行う。
---	---